

金森メタル(千葉県山武郡)



金森メタル(千葉県山武郡)は2007年、各種鋼材販売および機械加工を手掛ける金森興業(東京都江東区)の生産部門から独立して誕生した。現在は本社を構える千葉工場のほか、14年に稼働を開始した茨城県坂東市に坂東工場を保有し、最新の設備と高い技術力で多様化するユーザーニーズに 대응している。

今回の導入は、20年に導入した水素切断の現状を取材。生産性の向上とともに脱炭素社会が叫ばれる中、時代の流れにも対応する水素切断の可能性を探った。

「むしろ水素切断だからLPガス切断では歪んだり出せている分、付加価値としての売上アップが図れている。苦勞断を導入した成果として確立した加工法だ。技術の安売が少ないことによる作業者の環境改善」「ノロの剥離性が良いことによる後工程の短縮」

「ケープルしても保証がないと意味がないので、3ヶ角以上の大型定盤で反りがなければチェックし、新しい導入した3次元測定器で長さやひずみの検査を行って、導入当時の全体的な状態を整えていた。結果として流れが向いた。水素切断を導入したことで、当社は環境改善に貢献している」と胸を張っている。

伊藤部長は「様々な企業場として「様々な企業素のさらなる適用拡大に取り組んでいきたい」と意欲的に語った。

「ケープルしても保証がないと意味がないので、3ヶ角以上の大型定盤で反りがなければチェックし、新しい導入した3次元測定器で長さやひずみの検査を行って、導入当時の全体的な状態を整えていた。結果として流れが向いた。水素切断を導入したことで、当社は環境改善に貢献している」と胸を張っている。

「ケープルしても保証がないと意味がないので、3ヶ角以上の大型定盤で反りがなければチェックし、新しい導入した3次元測定器で長さやひずみの検査を行って、導入当時の全体的な状態を整えていた。結果として流れが向いた。水素切断を導入したことで、当社は環境改善に貢献している」と胸を張っている。

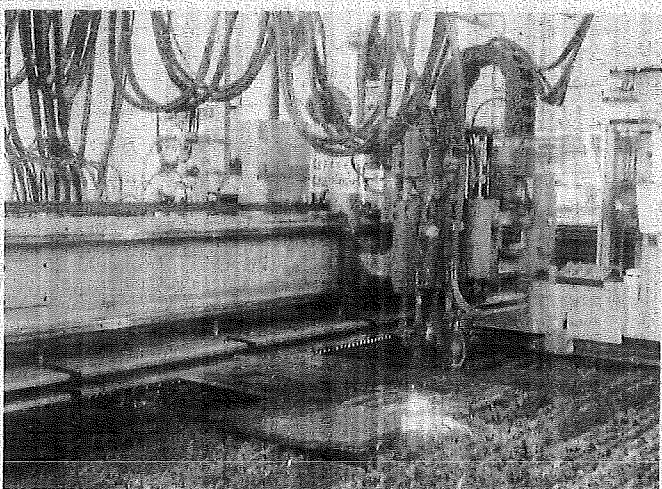
「ケープルしても保証がないと意味がないので、3ヶ角以上の大型定盤で反りがなければチェックし、新しい導入した3次元測定器で長さやひずみの検査を行って、導入当時の全体的な状態を整えていた。結果として流れが向いた。水素切断を導入したことで、当社は環境改善に貢献している」と胸を張っている。

伊藤部長と蛭川部長



伊藤部長と蛭川部長

水素切断の導入で高品質加工を実現 熱ひずみ低減、スピードアップで生産性も向上



水素切断の様子

か考えてしまいが、当社の染谷俊彦社長からは「当社がどこも真似できない高い技術を確立すればよい」と力強い言葉をいただいている。これが作業者の技

「むしろ水素切断だからLPガス切断では歪んだり出せている分、付加価値としての売上アップが図れている。苦勞断を導入した成果として確立した加工法だ。技術の安売が少ないことによる作業者の環境改善」「ノロの剥離性が良いことによる後工程の短縮」

「ケープルしても保証がないと意味がないので、3ヶ角以上の大型定盤で反りがなければチェックし、新しい導入した3次元測定器で長さやひずみの検査を行って、導入当時の全体的な状態を整えていた。結果として流れが向いた。水素切断を導入したことで、当社は環境改善に貢献している」と胸を張っている。

「ケープルしても保証がないと意味がないので、3ヶ角以上の大型定盤で反りがなければチェックし、新しい導入した3次元測定器で長さやひずみの検査を行って、導入当時の全体的な状態を整えていた。結果として流れが向いた。水素切断を導入したことで、当社は環境改善に貢献している」と胸を張っている。